



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員IR責任者 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	35,910	△5.2	430	—	1,018	—	1,030	—
2023年3月期	37,886	22.2	△2,184	—	△1,700	—	△5,644	—

(注) 包括利益 2024年3月期 6,161百万円(—%) 2023年3月期 △2,346百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	29.85	29.84	1.2	1.0	1.2
2023年3月期	△163.54	—	△6.5	△1.7	△5.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	107,804	91,926	85.2	2,662.21
2023年3月期	101,040	86,107	85.2	2,493.70

(参考) 自己資本 2024年3月期 91,889百万円 2023年3月期 86,068百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△4,120	△167	348	12,809
2023年3月期	△7,178	△2,133	△309	15,517

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	345	—	0.4
2024年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	345	33.5	0.4
2025年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		40.6	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	9.5	500	36.2	800	41.8	500	35.6	14.49
通 期	44,000	22.5	1,500	248.6	2,200	116.1	1,700	65.0	49.25

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
 新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	35,800,000株	2023年3月期	35,800,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	1,283,801株	2023年3月期	1,285,731株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	34,515,970株	2023年3月期	34,514,499株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	29,818	△2.3	△1,092	—	△786	—	△535	—
2023年3月期	30,535	25.3	△2,926	—	△2,656	—	△4,388	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	△15.50		—					
2023年3月期	△127.15		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	92,372		68,524		74.2	1,984.83		
2023年3月期	86,389		68,648		79.4	1,988.40		

(参考) 自己資本 2024年3月期 68,508百万円 2023年3月期 68,628百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. その他	20
(1) 受注及び販売の状況	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済の動向は、わが国においては社会経済活動が一段と正常化に向かい、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、ウクライナ情勢長期化による原材料・エネルギー価格高騰が続き、インフレ抑制に向けた欧米の金融引き締めや中国の不動産市場低迷にともなう景気減速など、世界経済は依然として先行き不透明な状況が継続しました。

このような経済情勢の中、当社グループは中期経営計画「Ever Onward 2023」に基づき、ホールガーメント横編機の拡販をはじめ、ソリューションビジネスの拡大などサステナブルなモノづくりを支援する製品・サービスの提案活動を世界各地の顧客、業界に向けて展開しました。当期は、「ITMA 2023」国際繊維機械展示会等において、「Reborn」をコンセプトに針不良検出装置、端糸処理装置などの新技术を搭載したホールガーメント横編機の新機種「SWG-XR」をはじめ、プロトタイプである成型編機の「SES-R」、手袋編機の「SFG-R」などを展示し、高い製品開発力で生産効率向上や高付加価値化を業界に向け発信いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高については359億10百万円（前期比5.2%減）となりました。利益面におきましては、売上総利益率の改善や販売費及び一般管理費の抑制により営業利益は4億30百万円（前期は営業損失21億84百万円）、経常利益10億18百万円（前期は経常損失17億0百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益10億30百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失56億44百万円）となり、各段階利益とも黒字となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (横編機事業)

当社のコア・ビジネスである横編機事業は、アジア地域では、主要マーケットである中国香港市場において景気回復の遅れから内需向けの設備投資は低調であるものの、香港系の大手顧客による次世代型ホールガーメント横編機「SWG-XR」の新規投資や、東南アジアの生産拠点に向けた生産効率の高い「N.SVR」など主力機種種の販売が伸長しました。一方、先進国向けニット製品の生産拠点であるバングラデシュは、政情の影響や外貨不足による信用状（L/C）開設の遅れを受けて設備投資が停滞し販売台数が減少しました。

欧州地域のイタリア市場においては有名ブランドの自社商品開発の動きにともなう設備投資などによりホールガーメント横編機の販売が伸びましたが、横編機全体の売上高は減少しました。中東のトルコ市場においては、国内インフレやユーロ圏の景気減速に加え暖冬の影響によりファストファッションアパレルからの受注が低調となり、コンピュータ横編機は前期に比べ売上高が減少しました。

国内市場では、生産性向上に資する設備投資や更新需要によりホールガーメント横編機を中心に売上が伸長しました。

これらの結果、横編機事業の売上高は258億84百万円（前期比5.5%減）となりました。

#### (デザインシステム関連事業)

デザインシステム関連事業は、欧米、国内の大手アパレルブランドを中心にSDS-ONE APEXソフトウェアのサブスクリプションサービスである「APEXfiz」のライセンス契約数が新規・更新ともに伸長しました。また自動裁断機「P-CAM」については国内を中心に販売が増加しました。

これらによりデザインシステム関連事業の売上高は34億66百万円（前期比2.0%減）となりました。

#### (手袋靴下編機事業)

手袋靴下編機事業は、国内及び海外大手ユーザーの設備投資が低調に推移したことにより、売上高は4億47百万円（前期比51.1%減）となりました。

#### (その他事業)

その他事業については、メンテナンス部品や紡毛糸の販売などで、売上高は61億12百万円（前期比1.2%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、受取手形、棚卸資産の増加などで、前連結会計年度末に比べて67億64百万円増加し、1,078億4百万円となりました。負債合計は、短期借入金の増加などで前連結会計年度末に比べて9億44百万円増加し、158億77百万円となりました。純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加などで58億19百万円増加し、919億26百万円となりました。また、自己資本の額は前連結会計年度末に比べて58億21百万円増加し918億89百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と同様に85.2%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて27億7百万円減少し、128億9百万円となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

#### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

棚卸資産の増加や仕入債務の減少などにより、当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは41億20百万円の資金の減少となりました。（前連結会計年度は71億78百万円の資金の減少）

#### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

定期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出などにより、当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは1億67百万円の資金の減少となりました。（前連結会計年度は21億33百万円の資金の減少）

#### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

短期借入金の増加やファイナンス・リース債務の返済による支出などにより、当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは3億48百万円の資金の増加となりました。（前連結会計年度は3億9百万円の資金の減少）

#### (4) 今後の見通し

今後の世界経済見通しにつきましては、国内景気は緩やかに回復傾向にあると予想される一方、ウクライナや中東など地政学リスクにともなう資源価格の高騰、中国経済の停滞や欧米を中心とした金融政策による景気後退懸念など、依然として先行きは不透明な状況が継続すると思われま

す。当社の主要販売先となるアパレル・ファッション業界においては、エンカル消費やトレーサビリティの要求など消費行動の変化や、ECサイトなどデジタル化の急速な進展、SDGsなどサステナビリティに関する企業の社会的責任の増大など、変化する事業環境への対応がますます求められています。こうした環境のもと、これまでのようなリードタイムの長い大量生産・大量消費を前提としたビジネスモデルから脱却し、市場ニーズに即した消費者満足度の高い商品を、必要などきに必要な量だけ生産し、短納期で消費者に届ける「あるべきビジネスモデル」の構築が急務となっています。事業環境においては、世界人口増加やGDP成長にともない安定的にマーケットは拡大傾向にあり、モノづくり環境の変化に基づくマーケットの移動は加速しています。一方、多発する紛争や複雑化する世界経済による投資意欲の減退、中国メーカーなど競合他社とのシェア争いが激化することも想定されます。

当社グループは、このようなアパレル・ファッション業界の課題や事業環境の変化に対して積極的に取り組むことで社会貢献や事業発展の機会とし、10年後のあるべき姿を実現するため企業理念を再定義するとともに、2024年度から始まる3ヵ年の中期経営計画「Ever Onward 2026」を策定しました。2027年3月期の経営目標として、連結売上高550億円、営業利益70億円、親会社株主に帰属する当期純利益55億円、ROE6.0%以上とすることを定めております。この目標の実現に向けた取り組みとして下記の4つの重点施策を実行してまいります。

##### ・経営基盤の再構築

収益の安定化と事業の成長に向けた抜本的な意識改革と社内体制・業務プロセスの刷新を断行し、持続的な企業成長に向けた経営基盤の再構築を進めます。

##### ・ソリューションビジネスの確立

ファッション業界のサプライチェーンにおける課題解決のためのソリューションを提供し、業界全体の付加価値を高めていくことを通じて、当社グループの持続的な企業成長につなげていきます。

##### ・横編機事業の再生

市場にマッチした新製品の開発、徹底したコストダウンの実行、ファッション産業以外の新規市場の開拓などの諸施策を通じ、横編機事業の持続的な成長を確実なものにします。

##### ・自動裁断機事業の拡大

機械性能を大幅に向上させた製品ラインアップを市場投入するとともに、積極的な投資により販売ルートおよびアフターサービス網を拡充し、横編機事業に続く事業の柱へと成長させます。

このような取り組みとあわせて研究開発、人的資本などの投資をこれまで以上に積極的に推進し、さらにグループ内においては、引き続き徹底したコストダウンや経費削減に注力し企業価値の向上に努めてまいります。詳細につきましては、本日公表しました「中期経営計画 Ever Onward 2026」をご参照ください。

これらの諸施策の実行により、2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高440億円（前期比22.5%増）、営業利益15億円（前期比248.6%増）、経常利益22億円（前期比116.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益17億円（前期比65.0%増）を計画いたしました。なお、業績計画の前提となる為替レートは、米ドルは140円、ユーロは150円を使用しております。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社では、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付けており、事業の持続的な発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としております。そのうえで、長期的視点に立った成長投資および今後の事業展開に備えた内部留保にもバランス良く配分を行う方針であります。

当期の期末配当金につきましては、2024年1月31日発表の期末配当予想のとおり、1株につき5円とする議案を株主総会にお諮りすることといたします。これにより、すでに実施いたしました中間配当金5円とあわせて、年間では1株につき10円となります。

次期以降の株主還元方針につきましては、2024年度から始まる3ヵ年の中期経営計画「Ever Onward 2026」に基づき、収益力の向上につながる積極的な成長投資と財務体質の強化に努めながら、連結配当性向40%を目安に株主配当を行います。なお、自己株式取得については、株価水準や資金の状況、市場環境などを総合的に勘案し、時機に応じて柔軟に実施してまいります。

この方針に基づき、次期の配当につきましては、中間配当金として1株につき10円、期末配当金として1株につき10円とし、これにより年間配当金は1株につき20円とする予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,530	14,822
受取手形	12,668	15,283
売掛金	30,892	30,218
商品及び製品	10,224	13,526
仕掛品	856	841
原材料及び貯蔵品	9,267	11,929
その他	1,282	1,532
貸倒引当金	△4,763	△4,135
流動資産合計	77,958	84,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,811	27,928
減価償却累計額	△21,238	△21,714
建物及び構築物（純額）	6,573	6,213
機械装置及び運搬具	5,730	6,044
減価償却累計額	△5,357	△5,343
機械装置及び運搬具（純額）	372	701
工具、器具及び備品	7,157	6,969
減価償却累計額	△6,466	△6,110
工具、器具及び備品（純額）	691	858
土地	6,402	6,583
リース資産	5,736	5,306
減価償却累計額	△5,314	△4,681
リース資産（純額）	421	625
建設仮勘定	336	82
有形固定資産合計	14,797	15,066
無形固定資産	96	152
投資その他の資産		
投資有価証券	4,736	5,493
退職給付に係る資産	1,138	1,202
繰延税金資産	576	589
その他	3,725	3,672
貸倒引当金	△1,989	△2,392
投資その他の資産合計	8,187	8,566
固定資産合計	23,081	23,785
資産合計	101,040	107,804



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,245	1,867
電子記録債務	941	768
短期借入金	1,000	2,500
リース債務	767	673
未払法人税等	551	242
契約負債	1,850	1,734
賞与引当金	926	1,328
債務保証損失引当金	144	80
その他	2,345	2,639
流動負債合計	10,773	11,836
固定負債		
長期未払金	947	53
リース債務	1,130	836
繰延税金負債	577	865
再評価に係る繰延税金負債	17	17
退職給付に係る負債	1,217	1,997
その他	267	269
固定負債合計	4,158	4,040
負債合計	14,932	15,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,423	23,422
利益剰余金	45,551	46,236
自己株式	△3,926	△3,919
株主資本合計	79,908	80,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	916	1,702
土地再評価差額金	33	33
為替換算調整勘定	5,371	10,319
退職給付に係る調整累計額	△161	△766
その他の包括利益累計額合計	6,159	11,290
新株予約権	19	16
非支配株主持分	19	21
純資産合計	86,107	91,926
負債純資産合計	101,040	107,804

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	37,886	35,910
売上原価	24,026	21,221
売上総利益	13,859	14,689
販売費及び一般管理費	16,044	14,258
営業利益又は営業損失(△)	△2,184	430
営業外収益		
受取利息	286	696
受取配当金	164	162
受取賃貸料	74	69
その他	265	351
営業外収益合計	791	1,279
営業外費用		
支払利息	12	51
固定資産賃貸費用	38	37
為替差損	123	590
貸倒引当金繰入額	111	—
その他	21	12
営業外費用合計	307	691
経常利益又は経常損失(△)	△1,700	1,018
特別利益		
補助金収入	—	45
投資有価証券売却益	—	249
特別利益合計	—	295
特別損失		
投資有価証券償還損	13	—
関係会社株式評価損	236	—
減損損失	3,187	—
特別損失合計	3,436	—
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△5,137	1,313
法人税、住民税及び事業税	534	191
法人税等調整額	△27	90
法人税等合計	506	282
当期純利益又は当期純損失(△)	△5,643	1,031
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△5,644	1,030

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△5,643	1,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	533	786
為替換算調整勘定	2,740	4,948
退職給付に係る調整額	22	△604
その他の包括利益合計	3,297	5,130
包括利益	△2,346	6,161
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,347	6,160
非支配株主に係る包括利益	0	0

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,859	23,423	51,541	△3,925	85,899
当期変動額					
剰余金の配当			△345		△345
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△5,644		△5,644
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△5,989	△0	△5,990
当期末残高	14,859	23,423	45,551	△3,926	79,908

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	382	33	2,630	△184	2,862	16	17	88,795
当期変動額								
剰余金の配当								△345
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)								△5,644
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	533	—	2,740	22	3,297	3	1	3,302
当期変動額合計	533	—	2,740	22	3,297	3	1	△2,687
当期末残高	916	33	5,371	△161	6,159	19	19	86,107

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,859	23,423	45,551	△3,926	79,908
当期変動額					
剰余金の配当			△345		△345
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			1,030		1,030
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△0		7	7
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	685	6	690
当期末残高	14,859	23,422	46,236	△3,919	80,599

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	916	33	5,371	△161	6,159	19	19	86,107
当期変動額								
剰余金の配当								△345
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)								1,030
自己株式の取得								△1
自己株式の処分								7
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	786	—	4,948	△604	5,130	△3	2	5,128
当期変動額合計	786	—	4,948	△604	5,130	△3	2	5,819
当期末残高	1,702	33	10,319	△766	11,290	16	21	91,926

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△5,137	1,313
減価償却費	1,420	995
のれん償却額	491	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△710	△924
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25	114
受取利息及び受取配当金	△451	△858
支払利息	12	51
為替差損益(△は益)	302	840
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△249
投資有価証券償還損益(△は益)	13	—
関係会社株式評価損	236	—
減損損失	3,187	—
補助金収入	—	△45
売上債権の増減額(△は増加)	△1,689	1,070
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,985	△5,547
その他流動資産の増減額(△は増加)	△96	△171
仕入債務の増減額(△は減少)	48	△963
その他流動負債の増減額(△は減少)	344	△266
その他	△262	238
小計	△7,302	△4,403
利息及び配当金の受取額	444	841
利息の支払額	△12	△51
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△308	△553
補助金の受取額	—	45
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,178	△4,120
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,022	△2,572
定期預金の払戻による収入	69	2,754
有形固定資産の取得による支出	△1,005	△715
有形固定資産の売却による収入	20	62
投資有価証券の売却による収入	1,000	513
投資有価証券の償還による収入	32	—
長期貸付けによる支出	△143	—
その他	△84	△210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,133	△167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000	1,500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△963	△804
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△345	△345
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309	348
現金及び現金同等物に係る換算差額	866	1,232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,754	△2,707
現金及び現金同等物の期首残高	24,271	15,517
現金及び現金同等物の期末残高	15,517	12,809

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業本部を置き、取り扱う製品・サービスごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は製品・サービス別セグメントから構成されており、「横編機事業」、「デザインシステム関連事業」、「手袋靴下編機事業」の3つを報告セグメントとしております。

「横編機事業」は、コンピュータ横編機・セミジャカード横編機の製造販売をしております。「デザインシステム関連事業」は、コンピュータデザインシステム・アパレルCAD/CAMシステム等の製造販売をしております。「手袋靴下編機事業」は、シームレス手袋・靴下編機の製造販売をしております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。



3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	27,395	3,538	913	31,848	5,841	37,689
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	196	196
顧客との契約から生じる 収益	27,395	3,538	913	31,848	6,038	37,886
外部顧客への売上高	27,395	3,538	913	31,848	6,038	37,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	27,395	3,538	913	31,848	6,038	37,886
セグメント利益	2,693	773	100	3,567	1,014	4,582
セグメント資産	69,437	3,703	999	74,140	8,564	82,704
その他の項目						
減価償却費	870	26	21	918	107	1,025
のれんの償却額	468	3	0	472	19	491
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	846	48	23	918	131	1,049

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	25,884	3,466	447	29,798	5,837	35,635
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	274	274
顧客との契約から生じる 収益	25,884	3,466	447	29,798	6,112	35,910
外部顧客への売上高	25,884	3,466	447	29,798	6,112	35,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,884	3,466	447	29,798	6,112	35,910
セグメント利益	4,421	860	60	5,342	1,317	6,660
セグメント資産	74,084	3,997	668	78,750	9,817	88,567
その他の項目						
減価償却費	614	24	12	651	86	738
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	733	50	13	797	123	921

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	31,848	29,798
「その他」の区分の売上高	6,038	6,112
連結財務諸表の売上高	37,886	35,910

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,567	5,342
「その他」の区分の利益	1,014	1,317
全社費用(注)	△6,766	△6,230
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	△2,184	430

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	74,140	78,750
「その他」の区分の資産	8,564	9,817
全社資産(注)	18,335	19,236
連結財務諸表の資産合計	101,040	107,804

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	918	651	107	86	395	257	1,420	995
のれんの償却額	472	—	19	—	—	—	491	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	918	797	131	123	271	△19	1,321	901

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
7,025	10,797	2,982	14,516	2,563	37,886

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
6,887	7,990	2,234	16,981	1,816	35,910

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
減損損失	2,878	189	42	3,110	70	6	3,187

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2 のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。当連結会計年度に、のれんの減損損失(1,678百万円)を計上しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	2,493.70	2,662.21
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)(円)	△163.54	29.85
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益(円)	—	29.84

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△5,644	1,030
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△5,644	1,030
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,514	34,515
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	8
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 受注及び販売の状況

## ①受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同期 増減率	受注残高	前年同期 増減率
横編機	21,622	△27.4%	3,745	△53.2%
デザインシステム関連	3,190	△15.0%	372	△42.6%
手袋靴下編機	705	△7.6%	301	605.2%
合計	25,517	△25.6%	4,419	△49.2%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同期増減率
横編機	25,884	△5.5%
デザインシステム関連	3,466	△2.0%
手袋靴下編機	447	△51.1%
その他	6,112	1.2%
合計	35,910	△5.2%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。